

株式会社三十三銀行
サステナブル預金フレームワーク

2026年2月 制定

目次

1. 株式会社三十三フィナンシャルグループのサステナビリティに関する取り組み	3
(1) 株式会社三十三フィナンシャルグループのサステナビリティに関する方針等	3
(2) 株式会社三十三フィナンシャルグループのマテリアリティ・KPI	3
(3) 株式会社三十三銀行のサステナブルファイナンスとその意義	4
2. サステナブル預金フレームワーク	4
(1) 本フレームワーク策定の目的及び背景	4
(2) 本フレームワークの概要	4
3. 第三者によるレビュー	5

1. 株式会社三十三フィナンシャルグループのサステナビリティに関する取り組み

(1) 株式会社三十三フィナンシャルグループのサステナビリティに関する方針等

株式会社三十三フィナンシャルグループ（以下、三十三 FG）は、経営理念「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」のもと、企業活動を通じて「持続可能な社会・経済の実現」と「当社グループの企業価値向上」の好循環を目指します。

(2) 株式会社三十三フィナンシャルグループのマテリアリティ・KPI

三十三FGは、2020年3月に「SDGsに関する基本方針」を制定し、SDGsの達成に貢献する取組みを進めてきました。2023年9月、持続可能な社会・経済の実現と三十三FGの企業価値向上を図るため、サステナビリティに対する基本的な考え方を示すものとして、「SDGsに関する基本方針」の上位に位置付ける「サステナビリティ方針」を制定し、特に重点的に取り組むべき4つの重要課題（マテリアリティ）を設定しました。

マテリアリティ（重要課題）
1. 地域経済・地域社会の持続的発展への貢献 お客様の課題やニーズに応じた最適なソリューションの提供と地域の社会課題解決の取組みを通じて、地域経済の持続的発展と将来にわたる豊かな地域社会の実現に貢献します。
2. 気候変動への対応・環境保全 気候変動対応や環境負荷低減に向けた取組みを通じて、地球にやさしい環境づくりに貢献します。
3. ダイバーシティ&インクルージョンの推進 人材育成、女性活躍推進、働き方改革等の取組みを通じて、個性が尊重され多様な人材が溢れる職場環境の整備に努めます。
4. ガバナンスの高度化 多様性のあるガバナンス体制の構築を通じて、経営の効率性と実効性を高めるとともに、適切な情報開示やステークホルダーの皆さまとの対話に努めます。

三十三FGは、持続可能な社会・経済の実現と企業価値向上の好循環を目指し、サステナビリティ目標を設定しています。三十三FGは、サステナビリティ目標の達成を通じて、持続可能な社会・経済の実現に貢献していきます。

項目	目標		
サステナブルファイナンス実行額	2024/4～2027/3（3年累計）	1,500億円	
CO ₂ 排出量	2013年度比	2030年度	70%削減
		2050年度	カーボンニュートラル
エンゲージメント指数（※）	毎年		7点以上

※会社への信頼度、愛着度を指標化し、会社と職員間の関係性を指数化したもの

(3) 株式会社三十三銀行のサステナブルファイナンスとその意義

株式会社三十三銀行（以下、三十三銀行）は、お客さまの再生可能エネルギー関連の取組みや、脱炭素化に向けた設備投資など、持続可能な社会実現のための融資を「サステナブルファイナンス」とし、2021年11月に「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」、2022年5月に「サステナビリティ・リンク・ローン」、2023年9月に「ソーシャルローン」の取扱いを開始しています。「サステナブルファイナンス」に関して、2024年度実績は1,131件・839億円となり、2025年度目標700億円、2024年度から2026年度の3年間で1,500億円の目標を掲げています。

2. サステナブル預金フレームワーク

(1) 本フレームワーク策定の目的及び背景

三十三銀行は、本フレームワークに基づくサステナブル預金（以下、本預金）による安定した資金調達を通じて、持続可能な社会の実現に向けたサステナブルファイナンスの更なる推進を目指すとともに、預金者に対して、ESGへの取組み機会を提供し、地域経済の持続的発展と将来にわたる豊かな地域社会の実現に貢献します。

これまで三十三FGでは、自社のサステナビリティ経営体制の整備のほか、お客さまのサステナビリティ経営をサポートする「SDGs 応援応援パッケージ」やカーボンニュートラルへの取組みをサポートする「脱炭素スタートパッケージ」などのサービスを提供してきました。今後は、お客さまからお預かりした預金をサステナブルファイナンスという形で地域に届けることで、預金を通じて地域の成長と持続可能な社会の実現に貢献できる機会をお客さまに提供することを目的として、本フレームワークを策定しました。

(2) 本フレームワークの概要

① 本預金の資金使途

本預金で調達した資金は、第三者機関から国際原則等に関する評価や第三者意見を取得しているポジティブ・インパクト・ファイナンスに充当するほか、再生可能エネルギー関連、医療・介護事業者向け融資のうち、資金使途を設備資金に限定した融資に限定して充当します。なお、再生可能エネルギー関連、医療・介護事業者向け融資については、環境や社会に対してリスクや負の影響を低減・回避されていることを都度確認します。

本預金の預入期間はサステナブルファイナンスの多くが中長期的な成果を求める性格であることを鑑み、6ヵ月ものまたは1年ものとします。本預金は、円建てのみを対象としており、将来にわたって繰り返し組成することを予定しています。

② 選定プロセス

三十三銀行営業本部は、本フレームワークに適合する融資を選定し、その適合の確認を行ったうえで、最終的に営業企画部長が承認を行います。

③ 本フレームワークにおける資金管理

三十三銀行は、本預金残高と本フレームワークの対象とする融資残高（本融資残高）を確認し、本融資残高が本預金残高を上回る状態を維持するように管理を行います。本預金残高が本融資残高を上回った場合、その超過分は現金又は現金同等物で管理を行い、可能な限り速やかに融資先に充当することでこの超過分を解消するように努めます。

④ レポーティング

三十三銀行は、本預金残高が存在する限りにおいて、下記項目を年1回ホームページに開示する予定です。

- 本預金の預入残高
- 適格サステナブルファイナンスの分類別充当金額
- 本預金の預入残高が適格ファイナンスへの充当総額を超過していないこと
- 適格サステナブルファイナンス毎のインパクトによる貢献が期待されるSDGsに係る17のゴール（一部ファイナンスに限る）
- その他、適格サステナブルファイナンス分類毎に発現が期待されるインパクトの定量的な指標

※なお、「再生可能エネルギー関連融資のうち資金使途を設備資金に限定した融資」については環境改善効果を示す指標（施設数、発電見込量もしくは発電容量等）、「医療・介護事業者向け融資のうち資金使途を設備資金に限定した融資」については社会的便益を示す指標（施設数等）を開示。

⑤ 外部評価

三十三銀行は、本フレームワークに関して、国際原則等に基づく確認に関する第三者意見を日本格付研究所から取得しています。

3. 第三者によるレビュー

三十三銀行は、本フレームワークの対象となる融資のポートフォリオとそれから発現するインパクトに関して、JCRから年次でレビューを受け、そのレビュー結果を公表します。レビューの依頼に際して、三十三銀行営業本部はJCRに対してレビューに必要な情報を提供します。同部はレビューにおいてJCRに対して提供する情報の正確性に係る専門性を担保するように努めます。

以上